

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀県立鹿島高等学校（赤門学舎・大手門学舎）	生徒数 684人
-----	------------------------	----------

I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	本との出会い、知識の海を泳ぐ ～本が導く新しい視点と発見～
	取組期間	令和6年(2024年) 4月 1日 ～ 令和6年(2024年) 11月30日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評 価	取組人数	684人	実施日数	244日	読書冊数	3,122冊	連携した団体数	1団体						
	取組内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ① 季節に合った装飾や楽しい装飾で親しみやすい環境づくり ② 四季折々のテーマに沿った特集コーナーの設置 ③ 映画化・ドラマ化した小説コーナーの設置 ④ 校舎のホールに図書コーナーを設け、毎月の新刊のお知らせをする ⑤ 新刊コーナーにおいて、帯とPOPを新刊と一緒に展示 ⑥ 月1回、図書館だよりの発行 ⑦ 鹿島市立図書館の図書館だよりの「みんなと」の掲示 ⑧ 赤門学舎図書室：図書委員のカウンター当番、当番日誌へのコメント記入 ⑨ 大手門学舎図書室：3年生を対象に国語の時間に下級生へのおすすめ本の紹介 POPを作成、ホールへの展示 ⑩ 読書月間のイベント ⑪ クラス読書会の開催 ⑫返却BOXの設置 ⑬環境美化の徹底 												
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ① 春→桜、梅雨→雫、夏→ひまわり、秋→十五夜、晩秋→紅葉・イチョウと、図書室の新刊コーナー壁面に飾り付け、季節を感じ取れる空間、明るい雰囲気空間作りを行った。大手門学舎では可愛い切り絵の装飾を図書室全体に飾り、明るくて楽しい雰囲気作りを行った。飾りつけには図書委員も参加。 ② 赤門学舎図書室内の特集コーナーでは下記テーマで本を選書し、POPを作成。ペーパークラフトなどを飾りつけしながら、日頃目にとめない本にも興味を持ってもらう機会を作った。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">春(4～5月)</td> <td>別れと出会いの季節 心温まる物語と触れ合おう</td> </tr> <tr> <td>梅雨～夏(6～9月)</td> <td>言葉の雨をあなたの心に</td> </tr> <tr> <td>秋(10～11月)</td> <td>2024国スポ！スポーツの秋！ 読書でスポーツを体験しよう</td> </tr> </table> ③ 近々に映画化・ドラマ化した小説を紹介するコーナーを作り、POPを作成し、原作にも興味を持ってもらうようにした。 ④ 校舎のホールで生徒の往来が多い場所に図書の告知コーナーを設置。新刊のお知らせを掲示している。新刊のPOPを作成し、より興味を持ってもらうよう工夫した。 ⑤ 図書室の新刊コーナーにおいて、本についていた帯と、作成したPOPと一緒に展示。本の魅力を伝えるために、小説の内容に合った背景やイラストを選んでPOP作りを工夫した。 								春(4～5月)	別れと出会いの季節 心温まる物語と触れ合おう	梅雨～夏(6～9月)	言葉の雨をあなたの心に	秋(10～11月)	2024国スポ！スポーツの秋！ 読書でスポーツを体験しよう
春(4～5月)	別れと出会いの季節 心温まる物語と触れ合おう													
梅雨～夏(6～9月)	言葉の雨をあなたの心に													
秋(10～11月)	2024国スポ！スポーツの秋！ 読書でスポーツを体験しよう													

	<p>⑥ 赤門学舎と大手門学舎、隔月で交互に図書館だよりを発行。例えば梅雨の季節には雨の様々な呼び名などを紹介したり、季節に沿ったテーマで知的好奇心が上がるような記事を掲載。また、教諭や図書委員におすすめの本の紹介文を作成してもらい、掲載。</p> <p>⑦ 毎月、鹿島市図書館から届く図書館だより「みんと」を渡り廊下の掲示板に掲示。図書室にも配布用を設置。</p> <p>⑧ 赤門学舎において、図書委員に昼休みと放課後のカウンター当番を任せ、日誌に感想を記載してもらった。本や言葉の話題も多く、司書が毎回コメントを記入し、生徒とのコミュニケーションに役立てた。</p> <p>⑨ 大手門学舎において、夏季休業の前に、国語の時間を利用し、3年生を対象に下級生へのおすすめの本のPOPを作成してもらい、コモンホールにすべてを展示。下級生の読書への興味と選書に役立てた。</p> <p>⑩ 10月15日～11月15日を読書月間とし、この期間に貸出数の多かった生徒を表彰する。赤門学舎ではポスターを作成し、校舎の各階へ掲示、周知を促す。大手門学舎では、イベントでしおりプレゼントを実施。司書手作りのしおりを貸出の先着順でプレゼントし、図書室に足を運んでもらう機会を増やした。</p> <p>⑪ クラス読書会では1年生・2年生が学年毎に同じ小説を読み、各クラスの図書委員が司会・板書を務め、感想の発表・意見交換を行う。生徒主導で進行し、活発な意見交換ができた。</p> <p>⑫ 赤門学舎は校舎入口の廊下、大手門学舎はコモンホールに返却BOXを置き、生徒が返却しやすくなった。図書室をもっと気軽に利用してもらうことにつながっている。</p> <p>⑬ 閉館時や開館時に、机に消しゴムのカスなど残っていないかチェックし、読書の間・勉強の間としていつでも快適に利用できるように美化に努めている。紙で作ったBOXを机毎に置いてごみ入れに使ってもらい、使用されたらすぐに交換している。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>読書によって、自分の身の回りだけではない様々な世界があることを知り、視野を広げて欲しい、また、心の支えとなるような、今後の糧となるような言葉と出会ってほしい、という思いで、生徒が様々な本を手にとってくれるよう取り組んだ。</p> <p>赤門学舎では、季節ごとの特集コーナーにおいて、とくに梅雨の時期に、生徒がよく立ち止まって本を手に取り、立ち読みしていた。特集コーナーから借りていく生徒も多く、背表紙を見るだけでは見逃してしまう本との出会いを提供することができた。新刊のPOPもよく読み、参考にしてきていた。「カウンター当番日誌」には、「もっと借りて欲しい、もっと来て欲しい」という感想も多く、来館者を増やすためのアイデアを生徒と一緒に考えることも必要だと感じた。</p> <p>大手門学舎では、装飾を生徒と一緒に飾り付けることによって、図書室への関心も持ってもらう、キャラクターを見つけることの楽しさと一緒にいろいろなジャンルの本に目をとめてもらう工夫ができた。読書月間では手作りしおりを先着50名に配布、しおりを選ぶ楽しさもプラスして本を借りていく生徒が増えた。コモンホールへの新刊の展示や、3年生のPOPの展示によって、生徒の興味を引き、図書室に足を運んでくれる生徒が増えた。貸出冊数が昨年より上回った(昨年一人当たり年間3.49冊→5.39冊)。生徒の読書欲を引き出せる工夫ができた。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>◎両学舎間で本を貸し借りできるようにしているが、今後はさらにそれを活かし、それぞれの学舎で選書している本のタイプが違うので、人気の本やおすすめの本など紹介しあう機会を作る。</p> <p>◎赤門学舎図書室：引き続き、季節ごとに特集コーナーを設置する。</p> <p>◎大手門学舎図書室：図書委員による図書館だよりのための記事(おすすめ本の紹介)の作成</p> <p>◎教諭(5名ぐらい)のおすすめの本を紹介してもらい、展示する。</p> <p>◎図書委員の3年生におすすめの本のPOPを作成してもらう。</p>

◎大手門学舎：図書館内の装飾



入口



カウンター



新刊コーナー

様々なキャラクターの切り絵を館内の随所に装飾。図書委員が飾り付け。天井からつるしたり、テーマに沿った絵柄を飾ったり工夫した。館内が明るい雰囲気になり、生徒が楽しんで館内をめぐるようになった。



◎赤門学舎：四季折々のテーマに沿った特集コーナー、新刊コーナー

時期	春(4～5月)	梅雨～夏(6～9月)	秋(10～11月)
テーマ	別れと出会いの季節 心温まる物語と触れ合おう	言葉の雨をあなたの心に	2024国スポ！スポーツの秋！ 読書でスポーツを体験しよう
選書	別れと出会い、春の季節を描いた小説を展示。POPをつける。	「言葉」をテーマにした本を展示。古典や詩集、勇気を与えてくれる言葉集など、色々な言葉との出会いの機会を増やす。	国スポに合わせ、スポーツを題材にした小説やアスリートに関するノンフィクションを展示。POPをつける。周辺地域で開催される国スポ競技の一覧も掲示。



春

梅雨

秋



◎新刊コーナー

POPを作成し、帯とともに展示。



◎両学舎：校舎ホールにおける新刊のお知らせ

・赤門学舎



・大手門学舎



生徒に興味を持ってもらうように、
本の内容を表記し、展示。

◎大手門学舎：3年生おすすめ本 POP の掲示



3年生が下級生に向けておすすめの本を紹介。
POPを作成し、ホールにて展示。

◎大手門学舎：読書月間のしおり配布

大手門学舎では、10月15日～11月15日の読書月間において、しおりプレゼントのイベントを実施。司書手作りのしおりを貸出の先着50名に配布。どのしおりがいいか、選ぶのを楽しみに図書館に来る生徒が増え、50名分配り終えた。また、しおりを通して生徒とのコミュニケーションも増え、本の話もたくさんできた。生徒に図書館に足を運んでもらう機会を増やし、貸出冊数も増やすことができた。



司書手作りのしおり。
リボン付けなど図書委員も制作に参加。

◎両学舎：クラス読書会の開催



クラス読書会では1年生・2年生が学年毎に同じ小説を読み、各クラスの図書委員が司会・板書を務め、感想の発表・意見交換を行う。生徒主導で進行し、活発な意見交換ができていた。

◎両学舎：返却BOXの設置

◎季節の飾り付け



<赤門学舎>
玄関に設置

<大手門学舎>
コモンホールに設置

